

## 平成30年度 特色ある区づくり予算 委員提案一覧

番号	区分 (企画・提案)	事業名	提案委員名	担当 (担当部会)	事業概要
1	企画	南区名所、史跡再開発事業	田村 義三郎	地域課 第3部会	<p>【目的】 南区には先達の名所、史跡が数多くあるが、区民にさえ知られていないことから、案内板やガイドマップの作成、一連のコースを組み立てることにより、認知度を高めることを目的とする。</p> <p>【内容】 南区内に数多くある先達の名所、史跡について下記の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・由緒、案内板の設置</li> <li>・ガイドマップの作成</li> <li>・観光ガイドの養成</li> </ul>
2	企画	南区の伝統・文化としての和太鼓の魅力発信	鈴木 照子	地域課 第3部会	<p>【目的】 南区内白根・味方・月湯の和太鼓チームが共有できる曲を作曲することにより、南区のイメージアップを図ることを目的とする。</p> <p>【内容】 南区内の白根・味方・月湯の和太鼓チームが共有できる、南区をイメージした曲を佐渡の和太鼓集団「鼓童」に作曲してもらい各々の活動で演奏を行う。また、年1回の共演イベントを開催し演奏することで、南区のイメージアップを図る。</p>
3	企画	新潟市無形文化遺産 「白根小唄・白根風音頭」の次世代継承事業 ～地域の文化を後世に残すDVDの作製～	大那 孝	地域課 第3部会	<p>【目的】 地域の民舞である「白根小唄・白根風音頭」の後継者育成と記録により、後世に繋ぐことを目的とする。</p> <p>【内容】 地域の文化遺産である「白根小唄・白根風音頭」は「白根小唄・白根風音頭保存会」で唄い踊り継いできたが、メンバーの高齢化で継承が難しくなっている。そのため、後継者育成に力を入れていくとともに、踊りの一手一手をDVDに残し次世代へ確実に継承する。</p> <p>《事業計画》 30年度: DVD作製準備 31年度: DVD作製 32年度: DVD発表会</p>
4	企画	定期市活性化プロジェクト	本間 智美	産業振興課 第3部会	<p>【目的】 区内各地区で続く定期市の活性化を図ることを目的とする。</p> <p>【内容】 江戸時代から続く定期市が、昨今、来客数・出店数の減少により、縮小してきている。定期市は、買い物難民の高齢者にとっては、大事な買い物や社交・見守りの場でもあり、今後の高齢化社会にとってもひとつの課題解決の場になりうる。白根の定期市をモデルとして仕組みを整備し、多様なニーズに応えられるようにし、また、その仕組みを他地区へも転用できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土日開催にあたる市を「〇〇マルシェ」等、呼び名をつけて広報し浸透させる。</li> <li>・土日に重なる日のみ、若い人たちが買いに行きたくする業種の出店者を戦略的に集め、出店してもらう。</li> <li>・高校生、大学生にも手伝ってもらい、彼らがまちづくりに関わるきっかけを生み出す。(彼らの意見を積極的に取り入れる。)</li> <li>・ロゴ、イメージのブランディング化をし、わざわざ行きたいと思える訴求力をつける。</li> </ul>
5	企画	ルレクチエ ブランディング	本間 智美	産業振興課 第3部会	<p>【目的】 ルレクチエを切り口に、食の交流から誘客を図り、交流人口増だけでなく、消費量を拡大することで、農業後継者問題の解決を図ることを目的とする。</p> <p>【内容】 ルレクチエは、希少価値がとても高いが、県外での認知度はとても低い。また、苗木を輸入してきたフランス本国でも、現在商業栽培されていない。そのため、ルレクチエを切り口に下記の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルレクチエの戦略的なPR</li> <li>・オルレアン市との交流事業</li> </ul>
6	企画	インバウンド対応	本間 智美	産業振興課 第3部会	<p>【目的】 2020年の東京オリンピックパラリンピック開催に向け、外国人客の受け入れ体制を整え、インバウンドへの対応を図ることを目的とする。</p> <p>【内容】 区内の外国語表示促進や、簡単な対応の講習をし、外国人観光客の受け入れ体制を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区内の案内看板の外国語表示</li> <li>・レストラン等のメニューの外国語表示</li> <li>・Wi-Fi整備</li> <li>・外国人対応講習</li> </ul>
7	提案	地域での見守り・支援のすすめ ～だれかがだれかのために… みんなおたがいさま～	鈴木 照子	健康福祉課 第2部会	<p>【目的】 認知症について正しく理解し、認知症になっても、困ったときはおたがいさまの意識醸成を図り、地域での見守り・支援を推進することを目的とする。</p> <p>【内容】 地域住民はもとより小・中学生をはじめ若い世代、また企業・団体の社員・職員からも学んでもらえるよう認知症サポーター講座を開催し、認知症について正しい理解と地域での見守り・支援を進める。また、サポーターがいる家庭や企業・商店等にサポーターがいる証としてステッカーを作成し、区内にステッカーが貼られる場所が増えることで、暖かい地域づくりを進める。</p>